

特別養護老人ホーム 浜松十字の園 2018 年度事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

1. キリスト教の精神に立って、法人理念「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」に基づき、事業を行う。
2. 聖書の言葉に触れ、愛と奉仕の姿勢を意識し、施設理念「今、私の前にいる、その人の、すべてを、大切にします」に基づき、利用者一人一人が生き生きと暮らしていけるようサービスを提供する。

B. 運営方針

『みんなが笑顔で居られる居場所を創ります。』

1. 利用者一人一人が安心して暮らすことの支援をする。
 - ・利用者の関心事を引き出し、その実現に向けた支援（自立支援）に努める。
 - ・サービス利用を断らない（断る場合は次のサービスへつなぐ）姿勢を全ての部署で持つ。
 - ・省エネ化補助金を活用した空調・照明設備更新と建物断熱化工事を行い、快適な環境を整える。
2. 職員同士が共に育つ力を身につける。
 - ・職種や役職の専門性を互いに理解し、信頼し合えるチームを作る。
 - ・福祉機器の導入など職場環境の改善を現場職員が中心になって研究し提案する風土を育成する。
 - ・施設内研修を充実し、誇りを持って働くことができる職員の育成に努める。
 - ・ハラスメント研修やメンタルサポートを継続し、安心して働ける職場作りに努める。
 - ・各サービス責任者が予算管理を担い、数値目標達成を推進していく風土を作る。
3. 地域のニーズに応え経営体力の強化に努める。
 - ・西部地区3施設の組織一体化を推進し、地域ニーズに応える力を結集・強化する。
 - ・十字の園の取組状況を地域へ発信し、より多くの方のニーズに応える。
 - ・報酬改定や浜松市第7期介護保険事業計画の理解を深め、地域の福祉事業者と情報共有を図り、地域ニーズに応じていく体制を整える。
 - ・さつき棟建替計画の実現に向け、将来にわたり地域の方が利用しやすく、職員が働きやすい環境を整えるため、計画の全面的な見直しを行い、具体化する。あわせて、収支バランスを改善し経営体力を強めると共に浜松市との調整に努める。

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 施設サービス課

1. 各職種が協力し合い、職員全員が利用者一人一人に目を向けた職場作りを目指す。

(介護)

1. オンライン動画研修システムを導入し、介護技術の底上げを図る。
2. 介護ロボット等の福祉機器導入の検討・研究を行い、働きやすい環境を作る。

(生活相談員・介護支援専門員)

1. 施設内外の連携をスムーズに行い、利用者が安心して暮らすことができる支援をする。
2. 地域や医療などへ視野を広げ、その人らしく暮らせるためのケアプランのPDCAを実践する。

2. 在宅サービス課

(短期入所生活介護)

1. 医療ニーズへの確に対応できるよう知識とスキルを高める。
2. 利用者の興味を引き出して、「また行きたい」と思ってもらえるショートステイを目指す。

(通所介護)

1. 事業所内外とのスムーズな情報共有・収集に努め、スピーディーな対応を目指す。
2. チーム力・多職種連携の向上を図り、利用者の「やりたい」を引き出す。
3. 働きがいがあり、安心してケアに集中できる職場作りに努める。
4. 管理栄養士の増員に伴い、「食」の楽しみの提供と栄養面のニーズに対応する。

3. 健康サポート課

1. 新たな加算算定要件を満たす取り組みをする。

(看護)

1. 新たな加算算定要件の実施を通して、医療的支援を深める。

(リハビリテーション)

1. 多職種で協働してリハビリテーションを行えるチームを作る。

(食事サービス)

1. 各種加算算定要件の実施を通して、利用者が健康に過ごすことができるよう栄養改善に努める。
2. 在宅利用者へのセレクトメニューを導入し、「食」の楽しさを提供する。
3. 給食委託業者選定から5年目を迎えるため2018年度内に2019年度からの委託業者選定作業を行い、「食」の楽しさを充実する。

4. 総務課

(総務)

1. 省エネ化補助金を活用した設備改修工事により利用者が快適に生活できる空間をつくと共に環境に配慮しながら経費削減に取り組む。
2. 勤怠管理システム更新により作業の効率化、情報の見える化を推進し、効率的で働きやすい職場環境を構築する。

(就労支援)

1. 地域のボランティア活動を支援する。

5. 診療所

1. 地域のニーズに応える診療所のあり方を研究する。

B. 数値指標

	特 養	短 期	通 所	合 計
利用定員	120 人	20 人	22 人	
利用者延数	43,362 人	5,986 人	5,491 人	
1 日平均利用者数	118.8 人	16.4 人	17.6 人	
稼働率、稼働指数	99.0%	82.0%	80.0%	
稼働日数	365 日	365 日	312 日	
単価 (一人一日当たり)	11,300 円	10,476 円	8,813 円	
総収入	489,970 千円	62,711 千円	48,390 千円	601,071 千円
職員数 (常勤換算)	71.64 人	12.07 人	10.33 人	94.04 人

Ⅲ. 事業種別・規模

- ・介護老人福祉施設 [特別養護老人ホーム] (120 名)
- ・短期入所生活介護および介護予防短期入所生活介護 (20 名)
- ・通所介護事業および介護予防・日常生活支援総合事業 (22 名)
- ・診療所

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	事業名	施設長		事務員		相談員		介護専門 支援員		看護師		介護士		訓練士 士能		医師		栄養士		調理師		介助員		その他		合計		
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
介護福祉施設	常勤		1	4		1	1	1	1	5	39		1		1		2										54	3
	非常勤									1	9		3		3							9			6		31	0
短期入所	常勤		1			1				1	8																10	1
	非常勤									1	2											1					4	0
通所介護	常勤		1			1					2		2														5	1
	非常勤									2	3											1		1			7	0
合計		0	3	4	0	3	1	1	1	10	0	63	0	6	0	4	0	2	0	0	0	11	0	7	0	111	5	

B. 職員組織について

施設管理	施設長 山本隆弘 診療所長 後藤幸一
施設管理会議	山本隆弘、鶴見俊輔、三木義史、湊満子、金谷一作
施設運営会議	山本隆弘、鶴見俊輔、三木義史、湊満子、金谷一作 永田昌代、鈴木完児、鶴見圭秀（オブザーバー 上野貢一）
防火管理者	金谷一作
衛生管理者	加藤義孝
苦情解決委員会	山本隆弘、鶴見俊輔、永田昌代、三木義史、第三者委員（野崎玲子、芝脇和春）
入所判定委員会	山本隆弘、鶴見俊輔、永田昌代、鈴木完児、外部委員（野崎玲子、芝脇和春）

V. 年間事業（行事）計画

区分	内容
全体で行う行事	イースター、夏祭り、敬老会、クリスマス、新年会
各ユニット・事業所の行事	花見、新茶、七夕、敬老会、餅つき、クリスマス、新年会、節分、外出誕生会、家族会等
保健・医療・衛生管理	利用者健康診断（年1回）、職員健康診断（年2回）、大掃除、防虫消毒
職員研修	新人研修、現任研修、委員会主催研修、ハラスメント研修、施設見学外部研修
職員会議	年1回：職員全体会議 月1回：施設管理会議、施設運営会議、リーダー会議、ユニット会議 給食会議、安全衛生委員会、優先入所判定委員会 年2回以上：苦情解決委員会
保安防災対策	防災訓練（毎月）[火災想定・地震想定・夜間想定]、防災会議（毎月）
入居者自由参加行事	喫茶室（週4日）、お茶会、書道、民謡踊り、陶芸、生け花、歌の会

VI. 固定資産購入、修繕等

- ・設備更新：本館・在宅棟の空調・照明更新と屋根・窓の断熱化（既存建築物省エネ化補助金活用）
食器乾燥保存庫及び包丁まな板乾燥機の更新 勤怠管理システム更新
- ・新規整備：オンライン動画研修システム導入 2階浴室へのリフト浴槽設置
診療所エコー検査設備設置